

情報通信技術（ICT）を活用した学外連携

TKK3大学連携プロジェクト

神戸学院大学

神戸学院大学は、東北福祉大学（T）、工学院大学（K）、神戸学院大学（K）が連携し、それぞれの大学の特色、強みを活かしつつ、文系と理系の融合による高度な研究・教育活動の展開を通じて社会に貢献することを目的とする「TKK3大学連携プロジェクト」を実施している。

1. 趣旨・目的

「TKK3大学連携プロジェクト」では、防災・減災や環境およびボランティアに関する高度かつ実践的教育のための大学間連携プログラムとして、共同の専門教育課程「学び合い」、連携による課外活動「分かち合い」、連携による災害時に備えたバックアップシステムと学生主体の実践訓練「助け合い」を展開することで、学士力向上および各大学の活性化、危機管理力の向上を目指した取り組みを行っている。（文部科学省 平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」）

2. 大学の役割と広域連携の意義

3大学による連携の枠組みは、東北福祉大学は福祉分野からボランティア教育を中心とした減災教育を通じて地域に根差した教育活動、工学院大学は工学分野から防災を捉え、地理情報システム（GIS）などを駆使した災害時の緊急対応訓練などの新たなシステム開発を通じて地域と連携した教育活動、神戸学院大学は人文・社会学の分野から防災やボランティア、国際協力に関する教育を行い、教材の研究開発とそれを活用した地域貢献活動としている。

このような特色を持った3大学が広域で連携することで、一つは防災・社会貢献に関する活動を3大学で完結することなく、それぞれの大学を拠点にして、線から面へと全国に広げて行けること。

二つは、大規模災害が発生した場合、広域連携により大学間でバックアップして教育・研究活動の継続・確保が可能になると考えている。

3. 連携授業の内容

平成22年度から専門教育課程の「学び合い」の一環として、社会貢献、防災・減災、ボランティア、環境、国際協力に関する3大学共同の専門カリキュラムに基づいた講義を遠隔システムで実施している。このシステムを活用して、学生は自大学にない学部の授業を他大学で学際的に学び、所定の単位を取得して「社会貢献活動支援士」の受験資格を得ることができる。

平成27年度は、高精細な遠隔システムとインターネットで17科目と集中講義3科目の実施を予定している。また、3大学の学生が一堂に会したスクーリング形式による授業も4科目実施している。

このことを通じて学生がそれぞれの専門知識や経験を持ち寄り、ディスカッションや協働により更なる知識とスキルの向上を図る取り組みも行っている。

